

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2013年 11月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
http://www.nskk.org/kobe/

発行責任者
司祭 芳我 秀一

印刷所
文明堂印刷所

主イエスは私たちの人生の羅針盤

司祭 オーガスチン 西川 正文



覚えております。

ニールセン少年の疑問

ニュージージーランドのオークランド港に近づく船に、一番最初に乗り込んで来たのは、水先案内人でした。その人の働きは、船を無事に港に入れ

その船旅というのは、今から50年ぐらいい前のことでニュージージーランドの神学校へ行く時のことでした。当時は、留学生が飛行機を利用するという事は、大変贅沢なこととされ、飛行機旅行は考えられ

ないことでした。ですから今では考えられないことですが、海外旅行は大型客船によるのが一般的でした。

私の場合、ニュージージーランドへの客船は運行されていなくてもあり、貨物船を利用して行きました。この船は、神戸港からニュージージーランドのオークランド港への直行便で、二週間余りかかったのを

デンマークの牧師、ハンス・ニールセンの父は、その水先案内人でした。ニールセン牧師は、少年時代は二階から父が誘導して船を港に出入りさせるのを見つめるのが大好きでした。

ある日のことですが、いつものように、父が船を港の外に無事誘導し、父がその船から降りてランチに乗り、後はその船が自力で目的港に行け

「あれは船の羅針盤の針が正しく北の方向を指しているかどうか、それを調べていたんだよ。」
私がニュージージーランドに行く時も体験したのですが、船が長い航海をしている時には、暴風雨にあたり、星ひとつ見えない真っ暗な夜を航海しなければならぬことがあります。そんな時、無事に航海し、目的地に着けるのは

ばよいという状態になっているのに、港の外でぐるぐる回って、いっこうに沖に向かって進もうとしないのに気が付きました。

時間のことなど忘れるほど大きな円をえがいた後、やっとのこと沖に向かって進んで行きました。それが少年のニールセン牧師には不思議でなりませんでした。そんな時、過去にも別の船が同じようなことをしているのを何度も見たことを思い出しました。

船の羅針盤のチエック

そこでその夜、その理由を父にたずねてみました。それに対して父が教えてくれたその理由というのは、次のようなものです。

「あなたは船の羅針盤の針が正しく北の方向を指しているかどうか、それを調べていたんだよ。」

あなたの僕のためにお計らいください
わたしは命を得て、御言葉を守ります。
わたしの目の覆いを払ってください
あなたの律法の驚くべき力にわたしは目を注ぎます。

詩編 一一九編 17〜18節
(神戸教区退職司祭)

大聖堂パイプオルガン奉献式

パイプオルガン委員会・委員長
ルツ 原 田 里香子

9月29日(日)、神戸聖ミカエル教会記念日にオルガン奉献式が行われ、約三五〇人が集まりました。

入堂聖歌に続いて、中村主教によってオルガンの聖別、

祈禱が奉げられ、教区招聘オルガニスト・徳山聖マリア教会信徒の井原由紀氏の奏樂で、オルガンのトランペットパイプが鳴り響きました。

オルガンは英国マンダー社製、二段の手鍵盤と足鍵盤、18ストップ、パイプ数一〇二二本です。聖餐式後半では、聖ミカエル教会信徒の中学生

二人からマンダーオルガン社社長に感謝状が贈呈されました。オルガンは、昨年の教会で承認を得た後、マンダー社に発注され、約一〇か月後完成しました。

当初の予定がだんだん遅れ、様々な問題が発生するなか、思い通りに進まなかった事も、結果的には主の豊かな恵みとなって、よい方向へ導かれ、

戸惑いと否定的な意見を抱えて、オルガン設置プロジェクトはスタートしましたが、直接励ましのお声をかけてく

ださった方々はもちろん、祈りと献金によって陰で支えてくださった多くの方々により感謝申し上げます。

このたび、新たに設置されたパイプオルガン委員会では、井原氏による月1回の礼拝奏樂とレッスン、年1回のコンサートなどを行い、現オルガニストの研鑽

や、将来礼拝奉仕に携わるオルガニスト、聖歌隊員の発掘と育成をめざします。

10月13日

(日)午後から行われた第1回パイプオルガンレッスンでは、神戸伝道区内から18人が集まりました。オルガンの説明、解説

教区オルガニスト

セシリア 井原 由紀氏

あいさつ

このたび、主の導きによって、神戸聖ミカエル大聖堂の招聘オルガニストとして、月1回の奏樂と、教区オルガニスト養成を担当させて頂くことになりました。まだまだ不慣れな点が多くありますが、これまでの日仏英3か国における演奏経験を生かして、神戸教区の礼拝音楽の発展に、微力ながら貢献したいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



井原 由紀氏プロフィール

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業後渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院ピアノ科、パリ国際音楽院にてオルガンをF.ルヴェシャン氏に師事し、オルガン科と室内学科を首席で卒業。その後、渡英し、英国王立音楽院オルガン科にてオルガンをS.ロンダル氏に、即興をL.ログ氏に師事し、最優秀成績にて大学院課程を修了、オルガン教授資格も取得。在欧中、セントジェームス教会(ロンドン)、サンド二教会(パリ3区)オルガニストを務める。マスタートークラスにおいては、O.ラトリー氏、D.ロート氏、L.ローマン氏、A.ガスト氏、J.ラウクヴィック氏、P.キー氏、J.スコット氏、P.D.ペレティ氏等のもとで学ぶ。これまでにロンドン、パリ、シャルトル、ボルドー、トゥールーズ、東京等にてソロコンサートを展開するかたわら、室内楽コンサートやオーケストラとの共演も多い。またM.デュブレ賞、E.P.ビッグス賞、C.ヒューグ記念賞、E.スィーマン賞、C.H.トレヴー賞、W.J.キップススカラーシップなど、受賞歴多数。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

の後、参加者一人一人が、オルガンを触って鍵盤のタッチ



を確かめ、パイプによって変わる音の違い、聖堂内の場所によって変化する響きの違いなどを体験しました。12月21日(土)には、井原氏の演奏でクリスマスコンサートが行われます。与えられたオルガンが主の栄光を讃える楽器として用いられ、パイプオルガンから奏でられる礼拝音楽を通して幅広い宣教活動が展開し、より豊かな信仰へとつながるよう共に祈りいたしましょう。

松山聖アンデレ教会礼拝堂屋根修理

司祭 ペテロパウロ 柳 本 博 人



屋根工事中の聖堂

松山聖アンデレ教会の聖堂の屋根は、2001年に発生した芸予地震の際の修復工事、2004年に施工した聖堂耐震工事の何れの工事でも、手をつけられることがありませんでした。

その後、徐々に屋根のトタンの腐朽が進み、雨漏りが発生するようになったようですが、定住教役者不在の期間は、その深刻さに気付くことが出来ず、2012年の牧師着任後は、煉瓦部分へのコーキング剤の注入等を試みたものの、本年春頃より、雨漏りはいよいよ深刻な事態となりました。

教会委員会では、議論を重ね、信徒の煉瓦の聖堂の保存・

維持の意志を確認した上で、7月末に本格的な聖堂屋根の調査を依頼したところ、築60年を経た聖堂屋根のトタン及びその下の垂木を支える棟桁部分の腐朽が激しく、このまま放置することは出来ないことが判明しました。

工事の見積では、屋根の部材全体を葺き替える案(見積額約550万円)と必要最小限の改修案(見積額約210万円)が提示されましたが、今の私たちの教会の現状、経済的な力で、何とか実施可能な改修案で工事を発注し、9月末、「自分たちの教会は自分たちで守る」ことを目指して、この工事の資金は、これ迄に積み立てて来た営繕献金を取崩し、不足分は教会内で献金を募る計画を立てたのですが、今回も、いつも松山聖アンデレ教会を覚え支えてくださる皆様の、お祈りと、温かいご支援に支えられることになりました。心より、御礼を申し上げます。

(松山聖アンデレ教会牧師・大洲聖公会管理牧師)

東アジア聖公会会議、神戸で開催

主教 アンデレ 中 村 豊

9月18日(水)〜20日(金)、神戸教区会館を会場にして、東アジア聖公会協議会常任委員会と、東アジア聖公会8管区の青年担当者で構成する、青年会議(ユース・フォーラム)実行委員会が開かれ、日本からは管区青年委員会委員長の小林聡司祭(京都教区)と畑野のぞみさん(大阪教区)が参加しました。

2016年、マレーシアで開催される青年会議には、日本聖公会各教区から一人、青年代表(18歳から30歳まで)の参加が求められています。「第51号アンデレ便り(10月発行)から転載」

2日目午後の合同会議では、青年会議の概要が発表されましたが、協議会議長のポール・クオン香港聖公会大主教や他の主教たちからは、「最終的に、常任委員会に計画立案を委ねようとする姿勢ではだめ。会議終了までに、自分たち自身の手で青年会議の詳細を決定しなさい。そのために神戸にやってきたのでしょう。」

実行委員たちの顔は真っ青になりました。この夜元町の松屋で親睦夕食会が催されましたが、その



神戸松蔭女子学院大学チャペルを見学の一行

第三回U26全国集會開催のお知らせ

日時：2014年2月21日(金) 午後集合

23日(日) 正午 解散予定
会場：信太山青少年野外活動センター
(大阪府和泉市)

対象：1987年4月〜1996年3月生まれの聖公会に繋がる青年

内容：分かち合い
「神様って?」
「U26のこれから」
各地の活動報告、
分科会、聖書研究、
テゼの祈り：など

申込：各教区の青年担当者へお問い合わせ先：
nskk.u26@gmail.com
(U26運営委員会)

U26世代の青年が全国から集うこの集會も、三回目を迎えるようとしています。

今回のテーマは「ひびきあつ」。同年代の青年が心をひびきあわせながら大いに語り合い、楽しみ、各地での青年活動に向けてあらためてエンジンがかかるような、豊かな交わりの時にしたいと思えます。

ご参加をお待ちしています！
U26運営委員長 八代 良寛

公 示

日本聖公会神戸教区 第81(定期)教区会を
招集します。

2013年9月12日

日本聖公会神戸教区
教区会議長
主教 アンデレ 中村 豊

記

日 時：2013年11月23日(土)
午前8時から午後5時まで
場 所：神戸聖ミカエル大聖堂

書記を下記のように任命します。

司祭 シモン 原田 佳城
司祭 ペテロ 中原 康貴

鳩だより

《敬称略》

祝 洗 礼

9月22日(日)
レミ ハイムガルトナー
ウエストン ハイムガルトナー
岡山聖オーガスチン教会

ご 逝 去

9月2日(月)
ハンナ 阿倍 志津(91歳)
徳島聖テモテ教会
9月12日(木)
ヨハネ 大原 繁實(89歳)
松江基督教会
9月18日(水)
景山 博(80歳)
浜田キリスト教会

山陰伝道区

◎伝道区信徒修養会開催。
10月19(土)20日(土)に、
伝道区信徒修養会を玉造国際
ホテルで開催。43名が出席し、
東北教区の越山健蔵司祭から
「2年6ヶ月を振り返って」
原発がもたらした人々の思い
の「変化」と題してお話し
して頂きました。



講師の越山健蔵司祭

12月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2013年12月5日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 與賀田 光嗣

12月の記念逝去教役者

2日	主 教	チャニング・ウイリアムズ
2日	司 祭	ヨハネ 長崎 泉
5日	伝道師	森 慶三
5日	司 祭	テモテ 岩井 祐彦
10日	司 祭	パウロ 島田 信
10日	伝道師	パウロ 大石虎太郎
14日	伝道師	武田 頼夫
14日	宣教師	イブリン・プレストン
14日	司 祭	水野 功
14日	司 祭	ペテロ 貫 主税
16日	司 祭	尾形 虎三
19日	宣教師	マリ・ホームズ
20日	宣教師	ハナ・D・スコット
21日	司 祭	ペテロ 加藤九十九
29日	司 祭	マルコ 伊墻 八東
30日	伝道師	オードリー・ヘンテ
31日	司 祭	マルコ 杉野 貢

◎鳥取聖ルカ教会



2013年10月6日(日) 聖ルカ祭り会場風景

10月6日(日)、午前9時からの
主日聖餐式後、午前11時から
「聖ルカ祭り」を開催した。
毎年、11月にバザーを開催
していたが、今回は、昨年から
随時開催している、地域の
高齢者の交わりの場である

徳島伝道区

「ほかほか広場」と、ミニバ
ザーを共に行い、地域との交
流を目的として開催した。
天候にも恵まれ、祝福され
た催しとなった。

◎伝道区信徒修養会開催

10月19日(土)、徳島イン
マヌエル教会にて、伝道区信
徒修養会を行なった。
テーマは「これからの教会・
伝道区のあり方」教役者・信
徒の意識を変える。講師
は、ペテロ大町信也司祭(北
海道教区札幌キリスト教会牧
師)。
また20日(日)には伝道区
合同礼拝を行った。
参加者42名

11月24日(降臨節主日) 人権活動を支える主日

すべての人権活動の働きを覚えて祈り、
信施をお献げしましょう。

収穫感謝献金のお願い

2013年・2014年の両年度は、
岡山聖オーガスチン教会のために
600万円(2年間で)を目標に献げます。

同教会は、バリアフリー化された牧師館・会館
建築費用4,000万円の内の補助として申請して
います。皆様のご理解とご協力をお願いします。
祈りのうちにお献げください。
11月17日(日)までに教会でお献げくださり、
教会ごとにまとめて教区会でお献げください。

お知らせ・PR

◎2014年度 聖公会カレンダー

ご希望の方は、所属教会に申
込み下さり、教会で取りまと
めて、ベロニカ会(広島復
活教会内)までお申込み下さ
い。教区会の時に各教会にお
渡しします。

◎2014年度 まどかカレンダー

東日本大震災被災者支援を行っ
ている、東北教区「大事に・
東北」から、来年度のまどか
カレンダーの案内が、教区事
務所に参っております。お問
い合わせは「だいに・東北」
支援室まで。
(☎022・265・5220)